

くるま 車いすバスケットボール **身体** ■男女混合 ■5人制



競技用の車いすを使って行うバスケットボール。
コートの広さ、リングの高さ、使用するボールは一般のバスケットボールと同じです。
「ダブルドリブル」なし。選手がボールをもって車いすを連続3回以上手で「漕ぐ」と「トラベリング」(反則)をとられます。
試合は10分クォーターを4回行います。※交流戦は10分クォーターを2回。

競技用車いすの特徴

- ターンがしやすいようにタイヤ(ピンク色の部分)がハの字になっている
- 車体の強度を上げたり、足の保護をするためにバンパー(青色の部分)がある
- ブレーキがない



各選手には持ち点があります!

最小1.0点 (障がいの程度が重い (ローポインター)) ← → 最大4.5点 (障がいの程度が軽い (ハイポインター))

【1.0点】 田中裕康選手	【1.0点】 岸田星那選手	【2.0点】 江口洋人選手	【2.5点】 栗山来晟選手
------------------	------------------	------------------	------------------

● 障がいの程度に応じて選手一人ずつに1.0~4.5点の持ち点が決められています。
● コート内の1チーム5名の選手の合計点が14点以内になるように編成されます。

特徴
動きを最大限に生かすため
・座面が高い
・背もたれが短い

チームを引っばるキャプテン!

佐賀で行われた車いすバスケの大会を観に行ったのがきっかけではじめました。ミドルシュートや味方を生かすスクリーンプレー、ゴール下のプレーなどが得意で、自分の持ち味だと思います。キャプテンとして、みんなが気持ちよくプレーできるようなポジティブな声かけを大切にしています。SAGA2024では、これまで応援・支援をいただいた方々に少しでも恩返しできるように一生懸命頑張ります!

背番号13 田中裕康選手

サッカー **知的** ■男女混合 ■11人制



フィールドの広さ、ゴール、ボールなどは一般のサッカーと同じです。
試合時間は前後半各30分。決勝戦及び3位決定戦は前後半各35分。
※交流戦は前後半各20分

練習風景紹介

ドリブルで攻めあがる!

試合形式の練習では、白熱したプレーの数々が!

味方の位置を確認して、正確なパス!!

一緒にプレイする仲間へ

インクル佐賀FCは、サッカーをすることが純粋に好きな選手、上手になりたいという選手が多いという印象を持っています。リーグ戦で対戦し、障がいの有無にかかわらずサッカーを通じて交流できることは素晴らしいことだと感じています。対戦するときはお互い真剣勝負です。一切手は抜きません。対戦するごとに強くなったと実感しており、何よりチームメイトに対して前向きな声かけをしている姿にとっても成長を感じます。インクル佐賀FCチームには、参加すればいいということではなく、勝利してメダルを獲ってほしいと思っています。やるからにはより高い所を目標に戦ってほしいし、その姿は今後のサッカーの普及にもつながると思います。リーグ戦対戦相手 鹿江康弘さん